

安保中央の防衛省交渉・要請 欠陥オスプレイの木更津配備反対

参加申し込み 明日まで安保中央へ

木更津配備のオスプレイ



政府・防衛省が米国から購入した陸自オスプレイの木更津駐屯地への配備が7月10日から開始され、防衛省の説明では今月から試験飛行をおこないます。11月からは飛行範囲を首都圏・関東一円に拡大するとし

ています。

陸自オスプレイ配備撤回を求めるとともに、飛行訓練が強行された場合を踏まえて、住民の安全を守るための防衛省への要請・交渉を下記によりおこないます。是非、参加してください。

1. 日時 9月30日(水)午後2時～
2. 場所 衆議院第1議員会館 第5会議室
※午後1時30分から会館玄関で通行証を配布します。
3. お願い 各団体からの参加者については、明日までに安保破棄中央実行委員会に報告してください。

止めよう辺野古新基地建設！ 辺野古裁判勝利！ 10.14 首都圏集会

- ・日時 10月14日(水) 18時30分～20時30分
 - ・会場 日本教育会館 一ツ橋ホール(神保町・竹橋・九段下)
 - ・講演① 加藤 裕さん(辺野古関連訴訟弁護団)
 - ・講演② 安部真理子さん(自然保護協会自然保護部主任)
 - ・メッセージ(予定) 玉城デニー沖縄県知事/各政党
 - ・参加費 800円
- 主催 「止めよう！ 辺野古埋立て」 国会包囲実行委員会
後援 戦争させない！ 9条壊すな！ 総がかり行動実行委員会



2016年12月のオスプレイ墜落現場(名護市安部)に日本の官憲も入れず

は、米軍基地負担に関する提言」を採択した後、日米地位協定の「抜本改定」を求める地方議会意見書は9月24日現在、9道県19市町村になり全国自治体(1788)の11.6%になりました。この中には、この間採択された沖縄の県議会を含む8自治体を加えました。意見書採択と同時に日米地位協定の抜本的改定の署名のとりくみもお願いいたします。全国の意見書採択の自治体は、安保破棄中央実行委員会のホームページでご覧ください。

青森県野辺地町議会と石川県羽咋市議会は9月議会で、日米地位協定の「抜本改定」を求める意見書を採択したことが分かりました。

青森県は40市町村のうち10町村の採択となり採択率は25%になりました。2018年7月に全国知事会

地位協定
抜本改定
意見書

9道県 199市町村に

青森県野辺地町と石川県羽咋市で採択

= 防衛省 辺野古新基地の設計変更承認申請 =
「変更申請不許可に」の意見書 9月28日(月)まで
9月18日の時点で3000通を超しましたが、まだまだ少ない状況です。

1. 郵送の場合は 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2
沖縄県庁 海岸防災課 宛
2. ファックスの場合は 098-860-3164 に送付してください。
3. メールの場合は umetateiken@pref.okinawa.lg.jp に